

製品仕様「FireEye」

本製品は、未知脅威の対策において、非常に優れたソリューションを提供いたします。本プラットフォームで使用されているサンドボックスは、複数に分割されて送り込まれる脅威（他社製品のサンドボックスでは検出が困難な脅威）に対しても、マルチフロー解析（時系列で一連のファイルや通信を検査）機能により、検知することが可能なソリューションであり、未知の脅威（サイバー攻撃）を、正確かつ速やかに検知し、セキュリティリスクを低減することが可能です。

NXシリーズ

ファイアウォール、IPS、アンチウイルス、Webゲートウェイでは検知できず、すり抜けてしまうWebベースの攻撃を防御するための脅威対策プラットフォームです。ゼロデイのWeb攻撃や複数のプロトコルを使用したコールバックを検知し、機密データやシステムを確実に保護します。

■FireEye NXシリーズ

項目	NX2500	NX2550	NX3500	NX4500	NX5500
通信量(目安)	50 or 100Mbps	250 / 500Mbps	500Mbps / 1Gbps	1 / 2Gbps	2.5 / 5Gbps
モニタリングポート	4 × 10/100/1000BASE-T	4 × 10/100/1000BASE-T 4 × SFP+ (1000BASE, 10GBASE)		4 × 10/100/1000BASE-T 8 × SFP+ (1000BASE, 10GBASE)	
管理ポート	2 × 10/100/1000BASE-T				
寸法	1RU			2RU	
重量	7.3kg	13.5kg	17.0kg	19.2kg	19.2kg
最大消費電力	85W	265W	426W	519W	658W

EXシリーズ

アンチスパムやレピュテーションベースのセキュリティ対策では検出不可能なスパイ・フィッシング・メールをブロックするための脅威対策プラットフォームです。すべての添付ファイルを解析し、高度な標的型攻撃のスパイ・フィッシング・メールを検知、隔離します。

■FireEye EXシリーズ

項目	EX3500	EX5500	EX8500
解析可能ファイル数(目安)	700/時間	1,800/時間	2,650/時間
モニタリングポート	2 × 10/100/1000BASE-T		2 × 10/100/1000BASE-T 4 × SFP+ (1000BASE, 10GBASE)
管理ポート	2 × 10/100/1000BASE-T		
寸法	1RU		2RU
重量	13.6kg	20.0kg	20.2kg
最大消費電力	245W	456W	530W

CMシリーズ

FireEye NX、EXシリーズの管理、レポート作成、データ共有を統合する集中管理プラットフォームです。容易に導入可能なネットワークのプラットフォームであり、使用することで、FireEye環境で自動生成された脅威情報をローカル環境にリアルタイムで配信し、ネットワーク全体で標的型攻撃を防御できます。また、FireEyeの各脅威対策プラットフォームの構成、管理、レポート作成を一元化できます。

■FireEye CMシリーズ

項目	CM4500	CM7500	CM9500
管理ポート	2 × 10/100/1000BASE-T		
寸法	1RU		2RU
重量	13.6kg	20.0kg	22.9kg
最大消費電力	245W	456W	612W